

現状・課題

豊田市と豊田市及びその近隣にキャンパスを置く大学等においては、平成27年度に包括連携協定を締結した。協定締結以降、豊田市と大学等は相互の取組分野において、協力体制、規模等を拡大してきた。一方で豊田市に対して、大学等連携による高等教育機関のリソースが十分に活用されてこなかったことも現状である。今後は、豊田市と大学等及び大学等間の連携をより強化することで、豊田市の課題である「地元就職の促進」「健康意識の醸成」「学校教育活動の支援」「ものづくり事業のさらなる展開」「スポーツ活動の促進」等に取り組むことが求められている。(地方自治体及び産業界等の意見を参考にして、豊田市の高等教育の現状・課題について分析を行った。)

ビジョン・目標

プラットフォーム形成により、豊田市と大学等間の連携・協力体制がさらに強化され、各種取組みに対してもこれまで以上に相乗効果を図ることを目標とする。また、大学等の高等教育機関のリソースを活用し、課題解決のために12の課題と56の取組み※を行うことで、地域の高等教育の課題解決と、豊田市の将来計画である「第2次地域経営戦略プラン」や「2019ラグビーワールドカップ(豊田市開催)」に向けて人と地域が共に育ち合う環境づくりに寄与することを将来ビジョンとして掲げる。 ※令和元年度に取組内容を6項目追加し、56項目とした。

ー 実施計画と目標 ー

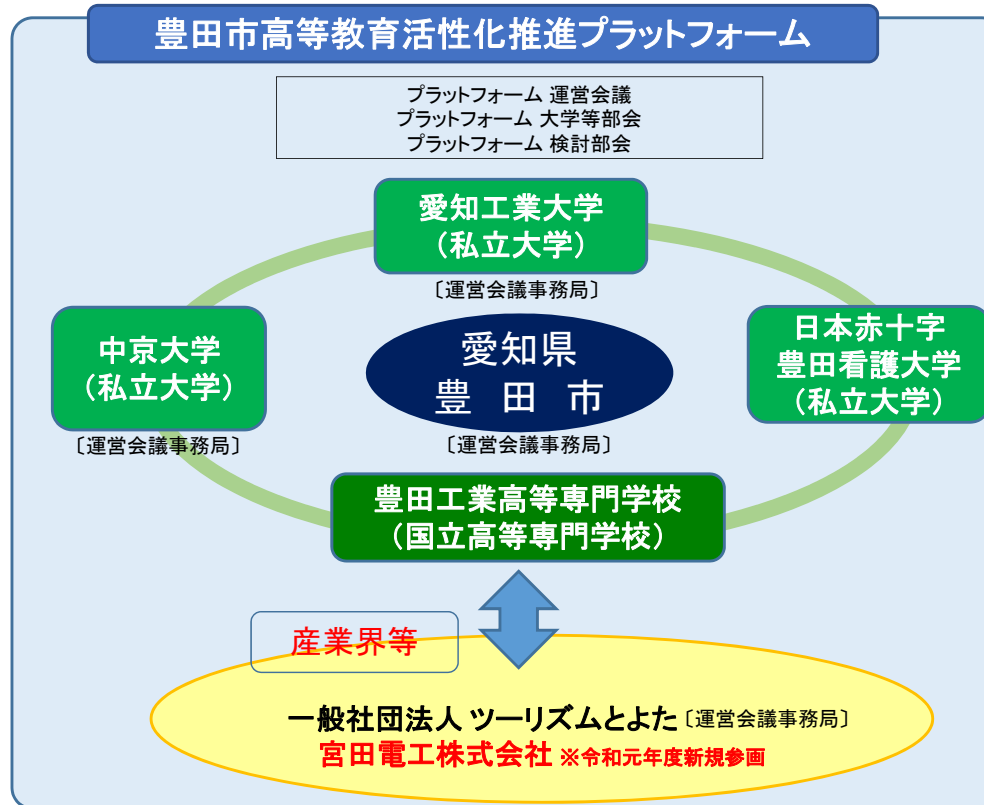
〔実施期間〕 平成29年度～令和3年度(5か年)

〔数値目標〕 計画当初に設定した各種課題について、計画の拡大、進展のため、12の課題のうち、いずれかの課題の取組件数を毎年1つ以上増やす。

※令和元年度よりアウトカム指標(プラットフォーム形成大学等における地域企業等への就職割合・入学者割合1%増、新体力テスト全国平均値以上の種目数増)を設定した。

〔評価〕 毎年、前年の中長期計画の取組内容について評価・検証・見直しを行い、翌年の取組みに反映させる。

豊田市高等教育活性化推進プラットフォーム



主な課題と今後の取組目標

【郷土愛の醸成】

- ・ 学生によるまちづくり提案
- ・ 大学・高専発の研究提案

【地元就職の促進】

- ・ 豊田市の医療施設への就職促進
- ・ 豊田市役所へのインターンシップ
- ・ 豊田商工会議所への地元企業に関する定期的なヒアリングを実施

【健康意識の醸成】

- ・ 摂食嚥下障害予防リスク評価システムの推進
- ・ ブラジル人学校における身体測定の実施

【防災・環境意識の醸成】

- ・ 学生消防団による防災活動を通じた地域貢献活動の推進
- ・ エネルギーの地産地消に向けた取組みの実施

【地域の学校教育活動支援の推進】

- ・ 高校生対象の出前授業等の実施
- ・ 豊田市教育委員会・小中学校教員と大学教員間の情報交換・意見交換
- ・ 学生による実践的教育活動体験の充実

【ものづくり事業の展開】

- ・ 小型自動車を用いた新たな技術開発
- ・ 産学連携実践セミナーをはじめとする企業連携教育の実践

【スポーツ活動の促進】

- ・ 各種スポーツ施設の利用促進
- ・ 小学生対象のスポーツスクールの実施
- ・ 豊田市及び産業界等とのスポーツ推進施策・計画に関する協議

【生涯学習の推進】

- ・ 公開講座の実施
- ・ 大学図書館の共同利用